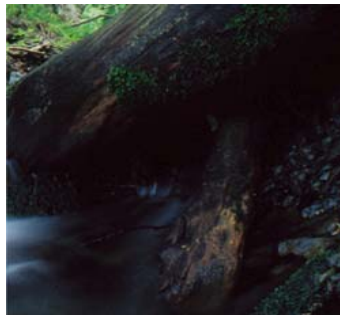


農林中央金庫

The Norinchukin Bank

2011年度第3四半期 単体決算概要説明資料

2012年2月7日



損益計算書サマリー(単体)

■ 経常利益は1,385億円と前年同期比減益となるも、通期での目標経常利益(500~1,000億円)を上回る水準で推移

(単位: 億円)	2010年度 第3四半期	2011年度 第3四半期	増減額	増減率
1 経常収益	8,679	7,958	-721	-8.3%
2 うち資金運用収益	5,320	5,252	-68	-1.3%
3 うちその他業務収益	1,277	667	-610	-47.8%
4 うちその他経常収益(注1)	1,968	1,938	-29	-1.5%
5 経常費用	6,832	6,573	-259	-3.8%
6 うち資金調達費用	4,230	4,329	99	2.4%
7 うちその他業務費用	1,519	794	-725	-47.7%
8 うち事業管理費	757	846	88	11.7%
9 うちその他経常費用	245	520	275	112.5%
10 経常利益	1,847	1,385	-461	-25.0%
11 特別利益	363	4	-358	-98.6%
12 特別損失	75	7	-68	-90.5%
13 税引前四半期純利益	2,134	1,383	-751	-35.2%
14 四半期純利益	1,871	1,074	-796	-42.6%

■ 経常収益は、資金運用収益・その他業務収益の減少などから減収

➢ 有価証券売却益245億円(前年同期比▲552億円)

■ 経常費用は、資金調達費用が増加するも、その他業務費用の低減から、減少

➢ 有価証券償却411億円(前年同期比+16億円)

➢ 有価証券売却損278億円(前年同期比▲609億円)

➢ 与信関係費用は198億円の収益計上(前年同期は325億円の収益計上)

■ 経常利益、四半期純利益は、経常収益の減収により減益となるも、通期の目標経常利益(500~1,000億円)を上回る水準で推移

注1:2011年度より、「貸倒引当金戻入益」および「償却債権取立益」の計上区分を「特別利益」から「その他経常収益」に変更しております。

注:2011年12月末現在、単体ベース

出所:農林中央金庫

貸借対照表サマリー(単体)

■ 総資産、純資産とも増加基調

(単位: 億円)	2011年 3月末	2011年 12月末	増減額	増減率
(資産の部)				
1 貸出金	140,023	146,628	6,604	4.7%
2 有価証券	430,700	429,878	-822	-0.2%
3 金銭の信託	77,510	70,002	-7,508	-9.7%
4 現金預け金	18,280	41,311	23,031	126.0%
5 その他	29,004	20,364	-8,639	-29.8%
6 資産の部合計	695,519	708,185	12,665	1.8%
(負債の部)				
7 預金	409,570	429,622	20,051	4.9%
8 譲渡性預金	7,681	12,425	4,744	61.8%
9 農林債	54,216	51,806	-2,409	-4.4%
10 借入金	20,756	17,230	-3,525	-17.0%
11 その他	160,791	151,988	-8,803	-5.5%
12 負債の部合計	653,015	663,072	10,057	1.5%
(純資産の部)				
13 資本金	34,259	34,259	-	-
14 資本剰余金	250	250	-	-
15 利益剰余金	9,681	10,551	870	9.0%
16 その他	-1,686	51	1,737	-
17 純資産の部合計	42,504	45,112	2,608	6.1%

■ 資産の部は、政府向けの貸出や現金預け金の増加により3月末比+1兆2,665億円

■ 負債の部は、会員からの預金の増加により3月末比+1兆57億円

■ 純資産は、純利益の積上げ、その他有価証券評価差額金の改善により、3月末比+2,608億円

有価証券等の評価差額(単体)

■ 有価証券等の評価差額は9月末比1,833億円改善し、38億円(評価損から評価益へ)

(評価差額 単位: 億円)	2011年 3月末	2011年 9月末	2011年 12月末	増減額 (9月末比)
【その他有価証券】				
1 株式	423	540	411	-128
2 債券	13	413	529	115
3 国債	29	423	535	112
4 地方債	0	0	0	0
5 社債	-16	-10	-7	2
6 その他	-4,488	-5,114	-3,361	1,753
7 外国債券	-1,135	690	1,113	423
8 外国株式	-33	-13	-7	6
9 その他	-3,318	-5,791	-4,467	1,323
10 うち投資信託	-3,290	-5,799	-4,472	1,326
11 小計 ①	-4,050	-4,160	-2,420	1,739
【その他の金銭の信託】				
12 その他の金銭の信託 ②	1,199	2,454	2,410	-43
【保有目的を変更した有価証券】				
13 その他有価証券から満期保有目的の債券 へ変更したもの ③	-578	-88	49	137
14 合計(①+②+③)	-3,429	-1,795	38	1,833

■ 長期金利が低水準で推移する中、外国株式が回復。外国債券、投資信託の評価差額が増加・改善し、9月末比1,833億円改善

注: 満期保有目的の債券の貸借対照表計上額と時価との差額は2,385億円(プラス)。
2011年12月末現在、単体ベース
出所: 農林中央金庫

- 本プレゼンテーション資料に記載されている情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等についての検証を行っておらず、また、これを保証するものではありません。当金庫は、本プレゼンテーション資料に記載されている情報の利用から生じる損害が直接的、また、間接的であるかに関わらず、何ら責任を負いません。
- 本プレゼンテーション資料には、当金庫に関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述は、当金庫が現在入手している情報に基づき、本プレゼンテーション資料の作成時点における予測等を基礎としてなされたものです。また、これらの記述は、一定の前提(仮定)の下になされています。これらの記述または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、または将来実現しない可能性があります。
- 本プレゼンテーション資料は、有価証券の販売のための勧誘を構成するものではありません。